

# 講師よりメッセージ

(平成29年度)

## 美・健康・悟りのための気功セミナー

人の脳は使えば使うほど高性能化します。これを脳の可逆性と言います。通常の五感で入力される情報に対して、人生の中でさまざまに学び訓練されて脳は、高性能化していきませんが「気」という通常の五感を越えた情報に対して脳がその情報を入力し、処理できるようになると、脳は全く別次元の高性能化をそれ自体生じてきます。

コンピューターに例えるとCPUという中央演算装置を一つ備えていたコンピューターが、CPUを二つ備えたコンピューターになるということです。

シングルCPUから、デュアルCPUになる。コンピューターに詳しい人ならどれほどすばらしいことか理屈なしですぐわかります。

コンピューターに詳しくなくても、気の情報処理ができることが、健康、対人関係、仕事、趣味、学習、運動などすべての分野で、自分の理想をはるかに越えた成果を手に入れることができるようになっていきます。「こんなことが出来るなんて考えてもみなかった。」という声が自分の内より頻繁に湧いてくるようになります。そのような声はよく聞きますし、自分でもそう思います。そしてそのような出来事は、気の訓練が長くなるほどますます頻繁となってくるようです。気功の本質はここにあり、健康体操や、ヒーリングの訓練はそのほんの一部にしかすぎないようです。私の気と気功の研究も、骨、骨髄気功、チャクラ、クンダリーニ、合気道と、ますます進展してきました。

人間の生きる目的が、物質次元の追究から、精神次元の追究に変わろうとしているこの時代、自らの脳でこの潮流に乗っていく人には、真の気功訓練が大きな力になることは間違いありません。

29年度はゼロのフィールドを使いこなす気の訓練をメインテーマにします。身体訓練の歴史を振り返ってみても、ゼロのフィールドは明らかにされていなかったように思います。空は仏教、無は道教、忘(坐忘)は儒教の中核となるコンセプトですが、概念をつかんでもこれを身体化するのには難しいものです。ゼロのフィールドを使いこなす気の訓練により、先人が空、無、忘と言った境地が見えてくるでしょう。

教材は合気バトンを主体に、チャクラの開発を行います。